

感覚運動医学講座／脳脊髄神経外科学領域 附属病院／脳神経外科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	菊田 健一郎	平成 21 年 4 月－
准教授	北井 隆平	平成 2 年 6 月－9 月，平成 3 年 4 月－8 月，平成 4 年 11 月－平成 7 年 8 月，平成 9 年 4 月－平成 13 年 5 月，平成 16 年 4 月－ (平成 25 年 4 月－現職)
講師	小寺 俊昭	平成 3 年 6 月－平成 4 年 10 月，平成 5 年 4 月－平成 5 年 8 月，平成 6 年 8 月－平成 8 年 3 月，平成 8 年 4 月－平成 9 年 3 月，平成 10 年 11 月－平成 11 年 4 月，平成 20 年 4 月－(平成 24 年 10 月－現職)
講師	有島 英孝	平成 5 年 5 月－平成 6 年 3 月，平成 8 年 4 月－平成 12 年 1 月，平成 15 年 4 月－(平成 25 年 6 月－現職)
助教	橋本 智哉	平成 13 年 5 月－平成 14 年 3 月，平成 17 年 1 月－平成 22 年 3 月，平成 25 年 4 月－
助教	磯崎 誠	平成 15 年 5 月－平成 17 年 3 月，平成 19 年 4 月－(平成 21 年 6 月－現職)平成 21 年 9 月，平成 24 年 4 月－平成 27 年 3 月
助教	根石 拓行	平成 23 年 6 月－
助教	東野 芳史	平成 19 年 4 月－平成 21 年 3 月，平成 21 年 4 月－平成 22 年 12 月，平成 26 年 4 月－
特命准教授	多田 弘幸	平成 26 年 4 月－

2. 研究概要 脳血管障害

● 研究概要

- 1) 皮質下出血手術標本を用いた病理組織学的研究
- 2) 未破裂脳動脈瘤クリッピング術における電気生理モニタリングの確立
- 3) 脳動静脈奇形、脳動静脈漏に対する術中 DSA と ICG を用いたモニタリングの確立
- 4) 傍鞍部動脈瘤に対する安全な手術法の確立
- 5) 内頸動脈狭窄症、もやもや病における MRI-ASL (arterial spin labelin) 法を用いた定量的脳血流測定の研究
- 6) 脳血管再建術における MRI-ASL (arterial spin labelin) 法を用いた手術効果の定量的判定の研究
- 7) 脳槽還流および tPA 髄腔内投与を用いたくも膜下出血後脳血管攣縮防止法の確立
- 8) 脳血管手術に適したチタン製新規手術器具の開発
- 9) ラット脳出血、脳虚血モデルと用いた Cu-ATSM PET、F-Acetate PET を用いたグリア代謝解析、神経再生、Small vessel disease の解析
- 10) 脳動静脈奇形および内頸動脈狭窄症手術標本を用いた病理組織学的研究
- 11) 新規血管吻合デバイスの開発

● キーワード

脳血管外科，脳血管内治療，¹⁵O-gas PET, Arterial spin labeling, Endothelial progenitor cell

● 業績年の進捗状況

業績記録に記載される通り 1)~9) のすべてにおいて研究は順調に推移している。1)~4) は日本脳神経外科学会総会をはじめとする国際学会を含む数々の学会で発表を行い、日本脳神経外科コンgres、数々の研究会における招待講演や特別講演により成果発表を行った。英文誌に複数の論文がアクセプトされている。5)~7) はデータ収集中であるが国内学会で途中経過を報告している。8) はすでに鯖江市シャルマン社と共同でマイクロハサミを開発し論文発表した。9)~10) は現在準備中である。

● 特色等

臨床と研究の一致を念頭に臨床に還元することを目標とした研究活動を行っている。これはトランスレーショナルリサーチを推進する本学の理念に合致すると考える。また脳血管障害は高齢者に多く後遺症という人生を左右する問題が主題であり、来期からの本学の中期計画となるライフサイクル医学の推進にも寄与するものと考えられる。

脳腫瘍学

● 研究概要

- 1) 術中 CT によるリアルタイム手術ナビゲーションシステムを用いた手術療法。
- 2) 大脳機能野近傍における腫瘍性病変に対する Functional MRI と手術ナビゲーションを用いた覚醒下手術の有用性。
- 3) 膠芽腫における最適な術後補助療法の確立のための遺伝子診断とバイオマーカーの検索。
- 4) 膠芽腫におけるホウ素中性子捕捉療法。
- 5) 悪性神経膠腫における浸潤増殖能及び血管新生。
- 6) グリオーマに対する 5 アミノレブリン酸 (ALA) 蛍光手術の病理所見の対比。
- 7) グリオーマにおける ^{62}Cu -ATSM-PET の臨床応用。
- 8) 腫瘍栄養動脈塞栓術後における髄膜腫の病理組織学的変化。
- 9) オリゴデンドログリオーマとアストロサイトーマの悪性転化時の臨床病理学的検討。
- 10) 胚細胞性腫瘍の治療検討、全国調査第二相試験への参加。
- 11) 中枢神経系原発悪性リンパ腫における診断、病態に寄与するバイオマーカーの検索。
- 12) 下垂体腫瘍の臨床病理学的検討。
- 13) 転移性脳腫瘍と正常脳の相互作用。
- 14) 脳神経外科領域における神経内視鏡手術の有用性と新規デバイスの開発。
- 15) 脳神経外科手術用モニターリング機器チタン微細加工を用いた手術機器の開発。

● キーワード

脳腫瘍外科学, 脳腫瘍病理学, 脳腫瘍分子生物学

● 業績年の進捗状況

上記いずれの研究も順調に推移している。

- 1)、2) 脳神経外科学会などの主要な学会に発表し、学会誌 (英文) に掲載された。
- 3) 先進医療の承認を得て、MGMT プロモーターメチル化、IDH1/2 遺伝子診断等を行っている。
- 4)、7) 症例の蓄積中。
- 5)、6) 研究成果を全国学会、国際学会に発表し、論文発表した。
- 8)、9) 研究は順調に遂行され、学会、論文発表している。
- 10) IRB の承認。症例の登録。
- 11) 論文発表された。
- 12)、13) 症例およびデータを蓄積中。
- 14) 論文発表された。
- 15) 北陸クラスター事業に採尺され、機械の開発、上市。

● 特色等

臨床面では術中 CT を用いた腫瘍摘出術は、本大学病院に独自の治療システムであり、それと併用して、当科独自開発の術中電気生理学的モニターリング機器や神経内視鏡およびナビゲーションシステムを駆使している。これらの方法を用いることで、低侵襲でより効果のある手術を行い、手術合併症を未然に防ぐことができる。研究面では上記の脳腫瘍の病理研究に関して、多くの論文発表を行っている。

● 本学の理念との関係

「最高・最新の治療を安心と信頼の下で」との本学医学部附属病院のスローガンの下、脳腫瘍の治療に関して外科治療は上記特色を生かした治療を行い、更なる技術の向上新規デバイスの開発を用いつつ放射線療法・化学療法に関しても関連他科と蜜に連携をとりながら最良の医療を行っている。今後も地域医療に貢献する。

脊椎・脊髄疾患

● 研究概要

- 1) 動物モデルを用いた脊髄症の病態解明および脊髄症に対する外科的治療効果の検討。
- 2) 脊椎・脊髄疾患に対する手術システムの確立。
- 3) 痙縮に対するバクロフェン髄注（ITB）療法および Neurotomy の治療効果の検討。

● キーワード

脊椎・脊髄疾患

● 業績年の進捗状況

- 1) 脊髄症におけるサイトカイン発現に関する研究を進め、新たな知見を得ている。
- 2) 当科において治療を行った脊椎・脊髄疾患症例の術前術後の神経症状および長期予後に関する調査・解析を行ない、症状の改善と安全な手術が施行されるよう、更なる手術システムの向上に努めている。
- 3) 脳卒中や脳脊髄損傷後などに生じる痙縮に対する治療で、本邦ではいまだ施行施設の少ない ITB 療法のスクリーニングおよびポンプ埋め込み術や末梢神経縮小術（Neurotomy）をリハビリスタッフおよび神経内科医の協力のもとで施行している。

● 特色等

- 1) 変形性脊椎症によるヒト脊髄症の病態に類似したラット慢性脊髄圧迫モデルを確立し、主として脊髄神経細胞死のメカニズムに関する研究を行っている。
- 2) 脊椎・脊髄疾患に対する外科治療に、術中 CT、術中電気生理学的術中モニタリング、脊椎固定インスツルメントなどを効果的に用い、その治療効果および安全性をより高める手術システムの確立を目指している。
- 3) 電気生理学的検査を含めた歩行解析システムを使用し、痙縮に対する ITB 療法および Neurotomy の治療効果を解析し学会などで発表し成果を上げている。

● 本学の理念との関係

本学の“世界水準の研究を地域ひいては人類の安寧と繁栄のために”の理念のもと、脊椎・脊髄疾患の病態解明および本疾患に対する治療法の向上に貢献しうる上記の研究を行っている。

3. 研究実績

区 分	編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）		
	2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分	
和文原著論文	47	4	—————	—————	
英文論文	ファーストオーサー	35	4	43.425 (43.425)	6.381 (6.381)
	コレスポンデイングオーサー	29	5	34.980 (34.980)	8.127 (8.127)
	その他	17	1	29.897 (29.897)	0.504 (0.504)
	合計	58	6	83.528 (83.528)	8.631 (8.631)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

(1338103)

*I. Kitade, H. Arishima, K. Kikuta: Effect of the Intrathecal Baclofen Screening Test on the Spatiotemporal Gait Motion Parameters of Patients With Cervical Spinal Cord Injuries Who Exhibited Diffuse Spasticity: A Report of Three Cases. NMC Case Report Journal, 1, 20-23, 2014. 01, #0.504 (症例報告)

1438001

H. Arishima, A. Tada, M. Isozaki, R. Kitai, T. Koderu, K. Kikuta, *K. Tai, *H. Iwasaki: Spontaneous spinal epidural hematoma in a patient with acquired Factor X deficiency secondary to systemic amyloid light-chain amyloidosis. J Spinal Cord Med, 29, Epub ahead of print, 2014.06, #1.878

1438002

H. Arishima, R. Kitai, T. Koderu, S. Yamada, K. Kikuta: A Large Intramedullary Neurofibroma in the Thoracic Spinal Cord: Case Report. Neurol Med Chir(Tokyo), 54 (9) , 752-756, 2014.09, #0.649 (症例報告)

1438003

*K. Awara, R. Kitai, M. Isozaki, H. Neishi, K. Kikuta, +N. Fushisato, +A. Kawamoto: Thin-film electroencephalographic electrodes using multi-walled carbon nanotubes are effective for neurosurgery. BioMedical Engineering OnLine, 13 (166) , 2014.12, #1.746

1438004

T. Koderu, H. Arishima, R. Kitai, K. Kikuta, *S. Iino, *S. Noriki, *H. Naiki: Utility of postmortem imaging system for anatomical education in skull base surgery. Neurosurgical Review, 38 (1) , 165-170, 2015.01, #1.861, DOI; 10.1007/s10143-014-0574-2

1438005

H. Arishima, H. Neishi, T. Koderu, R. Kitai, K. Kikuta: Cerebral amyloid angiopathy causing large contralateral hemorrhage during surgery for lobar hemorrhage: a case report. J Stroke Cerebrovasc Dis, 24 (3) , e83-85, 2015.03, #1.993 (症例報告)

(2) 和文：著書等 (proceedings を除く)

a. 著書 (分担執筆)

1438006

菊田 健一郎：シミュレーションと手術の実際：True Pcom 動脈瘤：宝金 清博，井川 房夫，宮地 茂(編)：内頸動脈瘤のすべて，メディカ出版，127-133，2015.03

1438007

*佐藤 一史，北井隆平，菊田健一郎：異型性脈絡叢乳頭腫：水澤英洋(編)：日本臨床 新領域別症候群シリーズ No28，神経症候群 III，2，日本臨床社，95-97，2014.06

1438008

*佐藤 一史，北井隆平，菊田健一郎：脈絡叢癌：水澤英洋(編)：日本臨床 新領域別症候群シリーズ No. 28，神経症候群 III，2，日本臨床社，98-101，2014.06

1438009

有島 英孝，菊田 健一郎：XVI 脳出血各論 皮質下出血，皮質下出血の病態：最新臨床脳卒中学㊦-最新の診断と治療-，日本臨床社，389-393，2014.10

1438010

東野 芳史，菊田 健一郎：第 2 章 術式別 手術の実際とケア 6.脳動静脈奇形摘出術：鈴木 倫保，小泉 博靖(編)：BRAIN NURSING2015 春季増刊 術式別決定版 脳神経外科手術とケアパーフェクトガイド，メディカ出版，82-90，2015.02

b. 編集・編集・監修

1438011

+森田 明夫，+伊達 勲，菊田 健一郎：新 NS Now1 バイパス術のすべて-次世代への技術継承-，Medical View 社，2015.02

(3) 和文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

(1338104)

+山内 貴寛, +勝村 浩敏, +野口 善之, 菊田 健一郎: rt-PA 静注後に新鮮梗塞巣, 陳旧性梗塞巣および 梗塞巣以外の 3 カ所に同時に脳内出血を来した 1 例. 脳卒中, 35, 448-452, 2013.11 (症例報告)

1438012

北井 隆平, +竹内 浩明, *三好 憲雄, *B.Andriana, 根石 拓行, 橋本 智哉, 菊田 健一郎: 5-ALA 誘導 protoporphyrin IX の蛍光を視認できる腫瘍細胞密度の検討—培養グリオーマ細胞と臨床例での測定. 脳神経外科, 42 (6), 531-536, 2014.06

1438013

+細田 哲也, +竹内 浩明, +吉田 一彦, 菊田 健一郎: 動眼神経麻痺を呈した内頸動脈後交通動脈瘤の 1 例. 脳卒中の外科, 43 (1), 45-48, 2015.01 (症例報告)

b. 原著論文 (審査無)

1438014

北井 隆平, 菊田 健一郎: 脳神経外科用マイクロシザーズ. 脳神経外科速報, 24 (5), 522-527, 2014.05

c. 総説

(1338105)

根石 拓行, 菊田健一郎: IV~VIII脳神経の位置と機能. ブレインナーシング, 29 (4), 328-330, 2013.04

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

1438015

K.Kikuta: Moya-moya disease: an overview, 7th European-Japanese Stroke Surgery Conference, 2014.06, Verona (Italy)

1438016

K.Kikuta: Surgical treatment of brain blood disorders, II Russian-Japanese Symposium, 2014.07, Irkutsk (Russia)

1438017

K.Kikuta: Advanced use of ICG angiography combined with hybrid operation theater in neurovascular surgery, 台湾神経外科医学会総会, 2014.12, Kaohsiung (Taiwan)

1438018

K.Kikuta: Surgery of cerebral AVM and spinal AVF, 6th Asian Congress of Neurological Surgeons Educational Course, 2015.02, Chitwan (Nepal)

b. シンポジスト・パネリスト等

1438019

R.Kitai: Modern surgical treatment of brain tumors, II Russian-Japanese Symposium, 2014.07, Irkutsk (Russia)

1438020

H.Neishi, M.Yomo, S.Yamada, Y.Higasino, M.Isozaki, N.Hashimoto, H.Arishima, T.Kodera, R.Kitai, K.Kikuta: Surgical treatment of hydrocephalus, II Russian-Japanese Symposium, 2014.07, Irkutsk (Russia)

1438021

S.Yamada, M.Yomo, H.Neishi, R.Kitai, K.Kikuta: Neurosurgical residency programs in Japan, II Russian-Japanese Symposium, 2014.07, Irkutsk (Russia)

c. 一般講演 (口演)

1438022

M. Isozaki, M. Yomo, S. Yamada, Y. Higasino, H. Neishi, N. Hashimoto, H. Arishima, T. Kadera, R. Kitai, *H. Kimura, K. Kikuta: Quantitative evaluation of cerebral blood flow by pulsed continuous arterial spin labeling in patients with carotid artery stenosis, 7th European-Japanese Stroke Surgery Conference, 2014.06, Verona(Italy)

1438023

K. Kikuta: Effectiveness and limitations of current intraoperative monitoring in surgery for complex aneurysms, 7th European-Japanese Stroke Surgery Conference, 2014.06, Verona(Italy)

1438024

H. Arishima, M. Isozaki, K. Kikuta: Pathological examination of cerebral amyloid angiopathy and MRI features in patients with lobar hemorrhages, 7th European-Japanese Stroke Surgery Conference, 2014.06, Verona(Italy)

1438025

K. Kikuta: Predictive factors of postoperative visual and ischemic complications in surgery of paraclinoid internal carotid aneurysms, The 4th Japan Russia Neurosurgical Symposium, 2014.10, Hiroshima(Japan)

1438026

R. Kitai: Insertion technique for small ventricle using new endoscopic sheath and stereotactic frame., The 4th Japan Russia Neurosurgical Symposium, 2014.10, Hiroshima(Japan)

1438027

R. Kitai: Friendship between Irkutsk Neurosurgeon and Fukui, The 4th Japan Russia Neurosurgical Symposium, 2014.10, Hiroshima(Japan)

1438028

H. Neishi, M. Yomo, S. Yamada, Y. Higasino, M. Isozaki, N. Hashimoto, H. Arishima, T. Kadera, R. Kitai, K. Kikuta: Differentiation between iNPH and Alzheimer's Disease by MRI, The 4th Japan Russia Neurosurgical Symposium, 2014.10, Hiroshima(Japan)

1438029

S. Yamada, A. Akazawa, M. Isozaki, *H. Kimura, K. Kikuta: Examination of Using Pulsed Continuous Arterial Spin Labeling for Quantitative Evaluation of Cerebral Blood Flow, The 4th Japan Russia Neurosurgical Symposium, 2014.10, Hiroshima(Japan)

1438030

***S. Kawajiri**, R. Kitai, K. Kikuta, +A. Egorov, +B. Vadim: Neurosurgical Residency Program between Siberian Neurosurgery and Fukui, The 4th Japan Russia Neurosurgical Symposium, 2014.10, Hiroshima(Japan)

d. 一般講演 (ポスター)

1438031

M. Isozaki, A. Tada, *Tetsuya Tsujikawa, *H. Kimura, K. Kikuta, ***H. Okazawa**: Feasibility of pulsed continuous arterial spin labeling (pCASL) in quantitative evaluation of cerebral blood flow: Comparison with quantitative SPECT and PET, EANM2014 (European Association of Nuclear Medicine), 2014.10, Gothenburg, Eur J Nucl Med Mol Imaging, 41, 2014.10

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

1438032

菊田 健一郎: 複雑な脳動脈瘤に対する外科治療, 第 34 回日本脳神経外科コンgres総会, 2014. 05, 大阪市

b. シンポジスト・パネリスト等

1438033

菊田 健一郎, 四方 志昂, 赤澤 愛弓, 山田 真輔, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, *佐藤 一史, *涼 孝介: 単純未破裂脳動脈瘤に対する安全なクリッピング術のための電気生理モニタリング, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 術中モニタリングの新たな展開, 2014. 10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54), 2014. 09

1438034

根石 拓行, 北井 隆平, *濱野 忠則, 四方 志昂, 山田 真輔, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 菊田 健一郎: 特発性正常圧水頭症とアルツハイマー病の MRI における鑑別 26 症例の検討, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, iNPH - ガイドライン改変を踏まえて, 2014. 10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54)

c. 一般講演 (口演)

(1338106)

橋本 智哉, 北井 隆平, 小寺 俊昭, *坂下 雅文, *小嶋 章弘, 菊田 健一郎: 前頭蓋底修復に対し内視鏡と開頭手術を同時に行った 3 例, 第 20 回日本神経内視鏡学会, 2013. 11, 甲府市

1438035

北井 隆平, 山田 真輔, 根石 拓行, 橋本 智哉, 菊田 健一郎: 培養細胞株、初代培養グリオーマ細胞における細胞外 5ALA 排出の検討, 第 10 回日本脳神経外科光線力学学会, 2014. 06, 浜松市

1438036

有島 英孝, +木戸口 正宗, 赤澤 愛弓, +荒井 大志, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 脊髄動静脈瘻における術中選択的 ICG 動注アンギオグラフィーの有用性, 第 29 回日本脊髄外科学会, 2014. 06, 東京都

1438037

小寺 俊昭, 有島 英孝, 北井 隆平, 菊田 健一郎, *飯野 哲: Frontobasal craniotomy における前頭洞の解剖, 第 26 回日本頭蓋底外科学会, 2014. 06, 千葉市

1438038

*田中 奈々絵, *米谷 博, *巨田 元礼, *安富 素子, *川谷 正男, *畑 郁江, *眞弓 光文, *大嶋 勇成, 有島 英孝, 菊田 健一郎, *大越 忠和, +平野 聡子, +石原 靖紀: 難治性細菌性髄膜炎を契機に診断された先天性皮膚洞の 2 症例, 第 46 回日本小児感染症学会学術集会, 2014. 10, 東京

1438039

北井 隆平, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, +竹内 浩明, 菊田 健一郎, *佐藤 一史, +久保田 紀彦: 手術室 CT 導入 17 年間の総括 1 号機 1000 例超から次世代機へ, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014. 10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54), 2014. 09

1438040

磯崎 誠, 赤澤 愛弓, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, *木村 浩彦, 菊田 健一郎: 内頸動脈狭窄症患者における arterial spin labeling (ASL) による脳血流の定量的評価に関する検討, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014. 10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54)

1438041

小寺 俊昭, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英

孝, 北井 隆平, 菊田 健一郎: Ai システムを利用した頭蓋底外科解剖, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014. 10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54) , 2014.09

1438042

北井 隆平, 山田 真輔, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 菊田 健一郎: 内視鏡で全摘出された非造影 Central Neurocytoma, 第 21 回日本神経内視鏡学会, 2014. 11, 東京都

1438043

+常俊 顕三, +新井 良和, 菊田 健一郎: 脳梗塞患者の心房細動検出のために必要な連続心電図モニタリング期間の検討, 第 40 回日本脳卒中学会総会, 2015. 03, 広島市

1438044

菊田 健一郎, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平: 単純な未破裂脳動脈瘤に対する安全なクリッピング術のための電気生理モニタリング, 第 44 回日本脳卒中の外科学会, 2015. 03, 広島市

1438045

根石 拓行, 北井 隆平, *濱野 忠則, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 菊田 健一郎: 特発性正常圧水頭症と脳血管性認知症との MRI による鑑別 28 症例の比較検討, 第 40 回日本脳卒中学会総会, 2015. 03, 広島市

1438046

東野 芳史, 磯崎 誠, 四方 志昂, 山田 真輔, 根石 拓行, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, *木村 浩彦, 菊田 健一郎: もやもや病に対する、Arterial spin labeling(ASL)法による定量的脳血流評価の検討, 第 44 回日本脳卒中の外科学会, 2015. 03, 広島市

1438047

山田 真輔, 四方 志昂, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 脳梗塞急性期血行再建術における Arterial Spin Labeling(ASL)法を用いた評価, 第 40 回日本脳卒中学会総会, 2015. 03, 広島市

1438048

有島 英孝, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 脳葉出欠と非脳葉出血の手術で得られた脳組織における cerebral amyloid angiopathy の病理組織学的検討, 第 40 回日本脳卒中学会総会, 2015. 03, 広島市

d. 一般講演 (ポスター)

1438049

北井 隆平, +木戸口 正宗, +竹内 浩明, 根石 拓行, 橋本 智哉, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 菊田 健一郎, *佐藤 一史: Anaplastic clear cell ependymoma と考えられた一例, 第 32 回日本脳腫瘍病理学会, 2014. 05, 徳島市

1438050

有島 英孝, 四方 志昂, 山田 真輔, 赤澤 愛弓, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 頭蓋内出血の手術で得られた脳組織における cerebral amyloid angiopathy の病理組織学的検討, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014. 10, 東京都, Neurol med Chir, Extra issue (54) , 2014.09

1438051

東野 芳史, 磯崎 誠, 四方 志昂, 山田 真輔, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, *木村 浩彦, 菊田 健一郎: もやもや病に対する、Arterial spin labeling(ASL)法による定量的脳血流評価の検討, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014. 10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54) , 2014.09

1438052

山田 真輔, 赤澤 愛弓, 四方 志昂, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英

孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, *木村 浩彦, 菊田 健一郎: 内頸動脈内膜剥離術前後における Arterial Spin Labeling(ASL)による定量的脳血流評価の有用性に関する検討, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014.10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54), 2014.09

1438053

橋本 智哉, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, *佐藤 一史, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 悪性膠芽腫における ASL の Perfusion Imaging と病理学的検討, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014.10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54), 2014.09

1438054

四方 志昂, 橋本 智哉, 北井 隆平, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 菊田 健一郎: 小脳橋角部膠芽腫の 1 例, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014.10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54), 2014.09

1438055

+荒井 大志, 北井 隆平, 小寺 俊昭, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 菊田 健一郎: 頭蓋骨発生 sarcoma、2 例報告, 第 73 回日本脳神経外科学会総会, 2014.10, 東京都, Neurol Med Chir(Tokyo), Extra issue (54), 2014.09

1438056

磯崎 誠, 根石 拓行, 四方 志昂, 山田 真輔, 赤澤 愛弓, 東野 芳史, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 当院における解離性椎骨動脈瘤破裂に対する治療, 第 30 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2014.12, 横浜市, JNET, 8 (6), 2014.12

1438057

根石 拓行, 磯崎 誠, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 内頸動脈前壁動脈瘤破裂くも膜下出血の急性期治療 (2 症例の経験より), 第 30 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2014.12, 横浜市, JNET, 8 (6), 2014.12

1438058

+新井 良和, +常俊 顕三, +松田 謙, 磯崎 誠: 頸動脈ステント留置術 (CAS) における MOMA Ultra の使用経験, 第 30 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2014.12, 横浜市, JNET, 8 (6), 2014.12

1438059

東野 芳史, 磯崎 誠, 四方 志昂, 山田 真輔, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 急性期血行再建術における Arterial Spin Labeling (ASL) 法を用いた評価, 第 30 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2014.12, 横浜市, JNET, 8 (6), 2014.12

1438060

四方 志昂, 磯崎 誠, 根石 拓行, 橋本 智哉, 山田 真輔, 東野 芳史, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: OA-PICA 吻合術と M-TEP (延髄部三叉神経誘発電位) を用いて治療を行った椎骨動脈瘤の 2 例, 第 44 回日本脳卒中の外科学会, 2015.03, 広島

1438061

松田 謙, +木戸口 正宗, +新井 良和, +廣瀬 敏士: 虚血発症による動脈解離に関連した椎骨動脈瘤の 2 例, 第 40 回日本脳卒中学会総会, 2015.03, 広島

1438062

磯崎 誠, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 虚血性脳血管障害患者における arterial spin labeling(ASL)を用いた定量的脳血流量評価の試み, 第 40 回日本脳卒中学会総会, 2015.03, 広島市

1438063

橋本 智哉, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 脳出血の原因が脳腫瘍であった症例検討, 第 40 回日本脳卒中学会総会, 2015. 03, 広島市

1438064

*川尻 智士, 根石 拓行, 四方 志昂, 山田 真輔, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: バルビツレート療法における低カリウム血症と反跳性高カリウム血症に難渋した脳出血の 1 症例, 第 40 回日本脳卒中学会総会, 2015. 03, 広島市

(3) 国内学会 (地域レベル)

a. 招待・特別講演等

1438065

菊田 健一郎: 脳脊髄血管奇形の外科的治療, 第 67 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会, 2014. 04, 大阪市

b. 一般講演 (口演)

1438066

+細田 哲也, +竹内 浩明, +吉田 一彦, 菊田 健一郎: 味覚障害で発症した小脳出管芽腫の一例, 第 86 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2014. 04, 金沢市

1438067

東野 芳史, 北井 隆平, 橋本 智哉, 四方 志昂, 山田 真輔, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 有島 英孝, *佐藤 一史, 菊田 健一郎: Lymphoplasmacyte-rich meningioma の一例, 第 87 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2014. 09, 名古屋市

1438068

四方 志昂, 磯崎 誠, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: OA-PICA 吻合術と M-TEP (延髄部三叉神経誘発電位) を用いて治療を行った椎骨動脈瘤の 2 例, 第 87 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2014. 09, 名古屋市

1438069

山田 真輔, 橋本 智哉, 四方 志昂, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: デスマプレシンの点鼻製剤から口腔内崩壊錠への変更が有用であった一例, 第 87 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2014. 09, 名古屋市

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1438070

北井 隆平: 脳腫瘍の診断と治療, 平成 26 年度第 1 回中部部会学術セミナー, 2014. 05, 金沢市

1438071

菊田 健一郎: 脳脊髄血管奇形の外科的治療, 第 121 回山口県脳神経外科談話会, 2014. 07, 宇部市

1438072

菊田 健一郎: 脳脊髄血管奇形の外科的手術, 第 44 回兵庫県脳神経外科医懇話会, 2014. 07, 神戸市

1438073

菊田 健一郎: 知っておくべき脳神経外科手術のコツ, Neurovascular Symposium2014, 2014. 10, 大阪市

b. 一般講演 (口演)

(1338107)

橋本 智哉, 木戸口 正宗, 多田 愛弓, 荒井 大志, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 成人小脳腫瘍の 1 例, 第 50 回北陸脳腫瘍懇話会, 2013. 10, 永平

寺町

1438074

磯崎 誠, +荒井 大志, 根石 拓行, +木戸口 正宗, 赤澤 愛弓, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 後大脳動脈瘤の一例, 第 86 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2014.04, 金沢市

1438075

+荒井 大志, 北井 隆平, 小寺 俊昭, +木戸口 正宗, 赤澤 愛弓, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 菊田 健一郎: 頭蓋骨線維肉腫の 1 例, 第 86 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2014.04, 金沢市

1438076

北井 隆平, 橋本 智哉, 荒井 大志, 菊田 健一郎: 造影されない脳室内腫瘍の一例, 第 22 回中部神経内視鏡研究会, 2014.04, 金沢市

1438077

根石 拓行, 四方 志昂, 山田 真輔, 赤澤 愛弓, 東野 芳史, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, *濱野 忠則, 菊田 健一郎: 歩行障害が先行した認知症の一例, 第 212 回福井脳神経疾患談話会, 2014.05, 福井市

1438078

山田 真輔, 四方 志昂, 赤澤 愛弓, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, *佐藤 一史, 菊田 健一郎, +竹内 浩明: 若年で再増大を繰り返した前頭葉腫瘍の一例, 第 51 回北陸脳腫瘍懇話会, 2014.06, 金沢市

1438079

四方 志昂, 橋本 智哉, 北井 隆平, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 菊田 健一郎: めまい、嘔吐発症の小脳病変の 1 例, 第 213 回福井脳神経疾患談話会, 2014.07, 永平寺町

1438080

橋本 智哉, 北井 隆平, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 菊田 健一郎: 左前頭葉腫瘍の一例, 第 140 回がんプロ・キャンサーボード症例検討会, 2014.07, 永平寺町

1438081

四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 服圧上昇に伴うラトケ嚢胞の自然破裂、縮小例, 第 20 回北陸間脳下垂体腫瘍研究会, 2014.08, 金沢市

1438082

橋本 智哉, 北井 隆平, 根石 拓行, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 菊田 健一郎: 下垂体及び右中心前回に存在する腫瘍性病変の 1 例, 第 214 回福井脳神経疾患談話会, 2014.09, 敦賀市

1438083

+半田 裕二, +石井 久雅, 有島 英孝: 腰椎椎体圧迫骨折 (burst 様) 後 下肢神経症状を呈した症例, 第 214 回福井脳神経疾患談話会, 2014.09, 敦賀市

1438084

橋本 智哉, 北井 隆平, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 菊田 健一郎: 斜体部腫瘍の 1 例, 第 23 回中部内視鏡研究会, 2014.09, 名古屋市

1438085

磯崎 誠, 有島 英孝, 根石 拓行, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 橋本 智哉, 小寺 俊昭, 北井 隆平, *岸谷 融, *濱野 忠則, *木村 浩彦, 菊田 健一郎: 海綿静脈洞部硬膜動静脈

瘻(CSdAVF)におけるASL評価, 第29回福井県脳機能画像カンファレンス, 2014.10, 福井市

1438086

根石 拓行, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 小脳三角部腫瘍の1例, 第5回悪性神経膠腫治療カンファレンス, 2014.10, 京都市

1438087

東野 芳史, 磯崎 誠, 四方 志昂, 山田 真輔, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 内頸動脈傍鞍部未破裂脳動脈瘤の1例, 第215回福井脳神経疾患談話会, 2014.11, 福井市

1438088

磯崎 誠, 山田 真輔, 東野 芳史, 四方 志昂, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 後下小脳動脈解離によるSAHの2例, 第23回北陸IVNR研究会, 2015.01, 金沢市

1438089

山田 真輔, 磯崎 誠, 四方 志昂, 東野 芳史, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: クモ膜下出血の一例, 第216回福井脳神経疾患談話会, 2015.01, 永平寺町

1438090

根石 拓行, 四方 志昂, 山田 真輔, 東野 芳史, 磯崎 誠, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: How to diagnose iNPH easily?, 北陸CSF研究会, 2015.02, 金沢市

1438091

+細田 哲也, +竹内 浩明, +吉田 一彦, +清水 幸生, 菊田 健一郎, *木村 浩彦: 慢性硬膜下血腫のASL画像と臨床症状の関連について, 第26回福井MR研究会, 2015.02, 福井市

1438092

*磯崎 由宇子, *畑 郁江, *大嶋 勇成, *重松 陽介, 有島 英孝: 低身長の子に脊髄空洞症と診断された女児例, 第29回北陸小児内分泌研究会, 2015.02, 金沢

1438093

山田 真輔, 磯崎 誠, 四方 志昂, 東野 芳史, 根石 拓行, 橋本 智哉, 有島 英孝, 小寺 俊昭, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 解離性椎骨動脈瘤の一例, 第217回福井脳神経疾患談話会, 2015.03, 永平寺町

1438094

山田 真輔, 小寺 俊昭, 橋本 智哉, 四方 志昂, 東野 芳史, 根石 拓行, 磯崎 誠, 有島 英孝, 北井 隆平, 菊田 健一郎: 動眼神経麻痺で発症した傍海綿静脈洞病変の1例, 第31回東海頭蓋底外科研究会, 2015.03, 名古屋市

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
平成26年度中小企業経営支援等対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業)	低侵襲治療用医療機器に最適なチタン系高強度・高靱性素材の開発		菊田 健一郎	北井 隆平	2014.09~ 2015.03	525千円

地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター」	微細加工技術を活用した医療機器の開発		菊田 健一郎	北井 隆平, 有島 英孝	2014.04～ 2015.03	2,722 千円
福井県大学連携リーダ連携研究推進事業	生体適合性の高い素材を用いた生体膜の自動縫合装置の研究開発		*多田 弘幸	菊田 健一郎, 北井 隆平	2014.07～ 2015.03	2,970 千円

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	クラゲコラーゲンを利用した人工硬膜の作成とその性能評価	小寺 俊昭		2014	1,300 千円
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	Cu-ATSMを用いた血管内皮前駆細胞の生体内追跡とグリオーマ新生血管抑制療法	菊田 健一郎		2014	1,300 千円
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	18FfluoroacetatePETを用いたアストロサイト機能での脳疾患の解明	根石 拓行		2014	1,430 千円
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	虚血性脳血管障害における新たな画像診断技術 62Cu-ATSM PET に関する検討	磯崎 誠		2014	1,170 千円

(B) 奨学寄附金

受入件数	24 件
受入金額	15,450,000 円

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	第212回福井脳神経疾患談話会	2014.05.22	福井市
その他の研究集会	主催者	第213回福井脳神経疾患談話会	2014.07.24	永平寺町
その他の研究集会	主催者	第214回福井脳神経疾患談話会	2014.09.25	敦賀市
その他の研究集会	主催者	第215回福井脳神経疾患談話会	2014.11.10	福井市
その他の研究集会	主催者	第216回福井脳神経疾患談話会	2015.01.22	永平寺町
その他の研究集会	主催者	第217回福井脳神経疾患談話会	2015.03.05	永平寺町

(B) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本術中画像情報学会	理事	菊田 健一郎
日本脳神経外科学会	評議員	菊田 健一郎
日本脳卒中外科学会	評議員	菊田 健一郎
日本脳神経外科光線力学学会	運営委員	北井 隆平

(C) 座長

国内学会（全国レベル）	学会名	氏名
シンポジウム等	第73回日本脳神経外科学会総会	菊田 健一郎

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員の別	氏名
World Neurosurgery	委員	菊田 健一郎
Neurological Surgery	委員	菊田 健一郎

(E) その他

<報道>
● 磯崎 誠：“元気で医こう”脳卒中の外科治療，県民福井，2014.08.10
● 小寺 俊昭：“元気で医こう”最近の開頭術，県民福井，2014.09.28
● 菊田 健一郎：グッドデザイン賞「ベスト100」，福井、読売，2014.10.02
● 菊田 健一郎：“ふくいのかみこ”目に火花、ギザギザが現れる，福井，2014.10.23
● 菊田 健一郎：シャルマンの手術はさみグッドデザイン金賞に，福井、日経、県民福井、朝日，2014.11.05
● 根石 拓行：“元気で医こう”手術で治る認知症「特発性正常圧水頭症」，県民福井，2014.12.21
● 根石 拓行：“おじゃまっテレ「健康一番」”「特発性正常圧水頭症」，FBC福井放送，2015.1.13

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関・委員会の名称等	役職	氏名	期間
国	福井労働局	地方労災医員	菊田 健一郎	2013.04.01～ 2015.03.31
	福井県健康福祉部	委員	菊田 健一郎	2015.02.01～ 2018.03.31

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
講演・セミナー等	敦賀市薬剤師勉強会，臨床	敦賀市薬剤師勉強会，専門職業人，50人	橋本 智哉
講演・セミナー等	認知症チームケア勉強会，臨床	嶺南地区認知症チームケア勉強会，専門職業人，100人	橋本 智哉

講演・セミナー等	特別講演, 福井県医師会スポーツ医・産業医研修会 「脳卒中後の職場復帰とリハビリテーション」	福井県医師会, 専門職業人	菊田 健一郎
講演・セミナー等	社内研修会, 「痙縮の外科治療とボトックス」、 「福井大学における抗けいれん薬の使用方法」	専門職業人	有島 英孝
講演・セミナー等	特別講演, 地域連携学術講演会 「日本人における脳梗塞治療のストラテジー～出血合併症を回避するための治療戦略」	大塚製薬株式会社, 専門職業人	菊田 健一郎
講演・セミナー等	特別講演, 平成 26 年度第 1 回福井県立病院リハビリ委員会主催研修会・ 「痙縮の外科治療-脳外科ができること-」	福井県立病院リハビリテーション部, 専門職業人	有島 英孝
講演・セミナー等	特別講演, 第 73 回日本脳神経外科学会総会アフタヌーンセミナー 「脳血管外科におけるモニタリング戦略～Leica 顕微鏡システムにおける次世代 ICG 解析機能の評価」	ライカマイクロシステムズ株式会社, 専門職業人	菊田 健一郎
講演・セミナー等	教育講演, 看護セミナー 「脳外科手術後の正常経過ケース 5」	メディカ出版, 専門職業人	菊田 健一郎
講演・セミナー等	一般講演, 学術講演会～症候性てんかんを考える～・ 「脳神経外科における抗けいれん薬の使用方法」	専門職業人	有島 英孝
講演・セミナー等	教育講演, 看護セミナー 「脳外科手術後の正常経過ケース 5」	メディカ出版, 専門職業人	菊田 健一郎
講演・セミナー等	特別講演, 第 46 回敦賀臨床フォーラム・ 「痙縮の外科治療」	専門職業人	有島 英孝
講演・セミナー等	特別講演, 学術講演会～日本脳卒中協会 SCRUM～ 「脳微小血管病変 Small Vessel Disease (SVD) の診断と治療」	大塚製薬株式会社, 専門職業人	菊田 健一郎

(B) **その他業績**

<ul style="list-style-type: none"> 菊田 健一郎: 特別講演, しらゆり会講演会 「手術で治る認知症、治らない認知症」, 2014.10
--